

報道関係者各位

**株式会社クリュートメディカルシステムズ、  
第三者割当増資により総額 3 億 2 千万円の資金調達を実施  
「視機能評価機アイモ vifa」の量産化・海外展開を加速**

2022 年 2 月 2 日

株式会社クリュートメディカルシステムズ（本社：東京新宿区、代表取締役：江口哲也、以下「CREWT」）は、既存株主である東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（本社：東京都文京区本郷、代表取締役社長 大泉克彦、以下「東大 IPC」）、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区麴町、代表取締役 辻田泰徳、以下「芙蓉リース」）、株式会社フューチャーパートナーズ（本社：東京都港区北青山、代表取締役 村田成二、以下「FP」）より第三者割当増資により総額 3 億 2 千万円の資金調達を実施いたしました。今回の資金調達により、2021 年 11 月より販売開始した新製品「視機能評価機アイモ vifa」の量産化、眼科以外の分野・米国市場への製品展開を加速してまいります。

**失明原因 1 位の緑内障、患者の 85%が未診断という課題**

CREWT（クリュート）は、患者にも医療従事者にも優しい医療機器を通じて人々のクオリティ・オブ・ビジョンの向上を追求し、眼科、その中でも主として緑内障検査機器の開発を展開しています。

失明原因の 1 位の「緑内障」患者は全国で約 500 万人。その多くが緑内障検査すら受けたことがない「潜在患者」で、その数は 378 万人にもものぼると推定されています。国内 40 歳以上の 5%が既に疾患しているにも関わらず自覚症状がなく、また専門施設での検査が必要なため 85%が未診断というのが実態です（※1）。緑内障は自覚症状がほとんどなく、気づいた時には大きく進行しているケースが多い疾患です。その背景には、患者・医療従事者双方に手間と時間がかかる 20 年以上変化のない検査方法に大きな課題がありました。

### 業界初のヘッドマウント型視野計を開発。検査時間は短縮。

CREWT は、2015 年 12 月に業界初となる可搬型視野計「ヘッドマウント型視野計アイモ」を発売し国内眼科施設への導入を進めて参りました。従来の検査では、暗室に大型の機器を設置し、10~15 分程度の時間のかかる検査方法でした。この度左右に独立した光学系を導入することで、左右同時に検査を進めることができ、検査時間を削減することができています。軽量小型化により、暗室も不要なため、省スペース化と持ち運びも実現。現在国内 200 の眼科施設に導入いただいております。

### 診療の効率化から眼健診のスタンダードへ、国内外の展開を目指す

さらに、CREWT の目標である潜在緑内障患者ゼロに向け、より使い勝手がよく患者に優しい検査機器として、プラットフォームハードウェア「スパロー」を完成。東京大学、近畿大学、国際視野画像学会のトップの指導の元、眼科施設向けに、視野検査プログラムのみならず白内障手術前後で活用できるコントラスト感度検査プログラムを「スパロー」に搭載し、「視機能評価機アイモ vifa」として 2021 年 11 月より販売を開始しています。幅広い骨格に対応可能で目の幅調整も不要となるため、検査までの準備がより短時間で手軽に検査が可能となります。

さらに、同ハードウェア（スパロー）のプラットフォームを活用し「アイモ scan」として健診施設での眼検診への応用を進めてまいります。「スパロー」は「imovifa」（視野検査器）として米国 FDA の登録も済ませており、並行して米国での販売準備を進めております。

なお、今回の資金調達により、新製品の量産化ならびに眼科以外の分野・米国市場への製品展開を加速してまいります。



#### 【新製品】

眼科施設向：視機能評価機アイモ vifa

健診施設向：アイモ scan

**東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 パートナー 河原 三紀郎 コメント**

CREWT 社は、ヘッドマウント型視野計を世界で初めて開発し販売して以来、国内では多くの医療機関に導入され実績を積んできました。

新製品は、デザインの刷新はもとより、過去 3 年以上の医療現場における生の声を反映したものであり、今後の医療機関への導入が更に加速されることを期待しております。

また、既に FDA 承認も獲得し、国内だけでなく、海外の患者さんに最先端の検査を提供できることは大きな成果です。

今回既存投資家 3 社が追加投資をさせていただくことになったのは、これら CREWT 社の着実な事業進捗を評価してのことだと考えております。今後、CREWT 社の国内外での展開により、緑内障の早期発見と適切な診断が広がり、患者さんの適切な治療に貢献できることを期待しております。

**芙蓉総合リース株式会社 執行役員ビジネスクリエーション部長 椎葉 博正 コメント**

この度、更に進化したアイモ vifa の量産・販売拡大と海外展開に向けた重要なタイミングで、あらためて CREWT の資金調達に参加できたことを大変嬉しく思います。CREWT の掲げる「緑内障の早期発見による人々のクオリティ・オブ・ビジョンの向上」は、我々芙蓉リースグループが目指す CSV 経営（社会課題の解決と企業価値の向上の両立）の理念と合致するものであり、今後もリースを初めとした様々なファイナンスプランを提供し、製品の普及をサポートすることで、CREWT の事業の発展を支援して参りたいと考えております。

## 株式会社クリュートメディカルシステムズについて

CREWT（クリュート）は、「Creation（創造）」「Weave（織る）」「Technologies（技術）」の頭文字をとった造語であり、すでに世の中にある優れた技術を織り上げ、隠れたニーズにマッチした『新たな価値』の創造を目指しています。

HOYA からカーブアウトした医療機器ベンチャーで、世界初の持ち運びができるヘッドマウント型の緑内障検査機器の開発を手がけています。緑内障に加えて、白内障、変視症、視神経炎、メニエールなど診断メニューの多様化を図り、診療の効率化から、訪問医療、遠隔診療などでの展開を広げ、「生涯よく見える眼を維持する」、人々のクオリティ・オブ・ビジョン（QOV）の向上に貢献してまいります。

※1 日本緑内障学会多治見緑内障疫学調査（通称：多治見スタディ）を参考に当社算出 <https://www.ryokunaisho.jp/general/ekigaku/tajimi.php>

## 株式会社クリュートメディカルシステムズ 会社概要

概要 医療機器の開発、製造販売  
設立 2013年4月  
所在地 東京都新宿区津久戸町3-11 TH1ビル飯田橋3階  
代表者 代表取締役 江口哲也  
URL <https://www.crewt.co.jp/>

### 【お問い合わせ】

株式会社クリュートメディカルシステムズ  
東京都新宿区津久戸町3-11 TH1ビル飯田橋3階  
TEL：03-5579-2998  
Email：info@crewт.co.jp